

令和 5 年度 第三学期始業式式辞

令和 6 年 1 月 9 日 (火)

みなさん、おはようございます。そして、新年おめでとうございます。

皆さんの元気な姿を見ることができ、大変嬉しく思います。

まず始めに、この令和 6 年が生徒のみなさんと先生方にとって、健康で幸多き年になりますよう心から願っております。

さて、1 日 16 時 10 分に能登半島地震が発生し、特に石川県では家屋の倒壊や津波など多くの被害を受けました。亡くなられました方々に対しまして、ご冥福をお祈りいたします。私たちは 13 年前、東日本大震災で被災し、甚大な被害を受け、多くの尊い命を失いました。当時、全国各地から支援をしていただき、復旧し、そして、今の生活があります。今回の地震で被災した皆様に少しでも力になればと思い、募金をさせていただきました。皆さんにも何かできることがあるはずです。ぜひ支援の輪を広げていきましょう。

今日からスタートする第 3 学期は、令和 5 年度の締めくくりの学期であります。特に、3 年生にとっては、義務教育 9 年間で締めくくる、とても大切な学期となります。

3 年生が、各自の進路実現に向けて本気で取り組み、一日一日を充実させることはもちろんですが、全校生みなさんがこのことを、十分に踏まえた生活を心がけなければならないと思います。そのためには、授業、部活動、清掃活動や生徒会活動など、すべての学校生活において、2 学期までの自分を振り返り、改善すべき点は改善し、良いところはさら進化させていくことが大切です。

このことが、1、2 年生にとっては、お世話になった 3 年生への感謝の気持ちを表すことであり、また、同時に、五中の伝統をしっかり引き継ぐことにつながります。そういう意味では、特に、2 年生のリーダーシップに期待しています。

2 学期の終業式後に、空先拓海さんの講演会を行いました。皆さんの感想をすべて見させていただきました。空先さんの講演から少しでも何かを感じとってくれたらと思っていました。その一部を紹介します。

「日常の当たり前の生活に、感謝の気持ちを持って生活をしていきたいです」

「私もマジシャンになります」

「何があっても夢をあきらめないことと感謝を忘れずに生きていこうと思います」

「勉強の大切さがわかりました。将来のために今できることを精一杯やっっていこうと思います」

真剣に話を聞き、これまでの自分を振り返った生徒がほとんどでした。

皆さん一人一人の思いを形にするためには、学び続けることが大切です。3 学期も充実した学校生活を目指し、力を合わせて取り組んでいきましょう。

郡山第五中学校長 小山健幸